

佳作 人生は挑戦だ



ディエゴ ジョナリン ドンギーイス
DIEGO JONALYN DONGUI-IS
国 籍 フィリピン
職 種 介護
実習実施者 医療法人緑風会
監 理 団 体 協同組合 BM サポートセンター

人生は美しいですが楽しいことばかりではありません。毎日が挑戦です。それをどのように扱い、戦うかにかかっています。経験する全ての試練は私たちがより堅実になり、諦めないためにあると思います。私の人生は数え切れないほどの疲れる浮き沈みに満ちています。しかし、常に前向きな側面を考え、全てが私の成長のために起こると信じています。

一つ目の試練は「方言」です。現在、私は高齢者施設で介護の技能実習生として働いています。最初は、言葉で調整するのに苦労しました。理解するのはかなり難しいです。学んだ日本語は高知の方言とは異なります。例えば、「かまん」という言葉は「良い」や、「あいちょう」は「空いています」などを意味します。なるべく利用者さんと話をしたいのですが何を言っているのかわからず不安です。ある日、部屋で利用者さんのお茶を配っていたとき、かなり気性の荒い泉さんが何か言いました。お茶のことだと思ったのであまり気にせずうなずいて「はい」と答えました。それから彼は何かを探して「ないやんか!」と私に言いました。大きな声で怒っているようでした。パニックになり、「ちょっと待ってください」

と言って先輩を探して助けを求めました。その瞬間分からなかったのもとても残念でした。

コミュニケーションを良くするために家にいるときにルームメイトと日本語で会話を練習しています。「さんこん土佐日記」という高知の漫画も読んで方言のルールを覚えました。少しずつ方言に慣れてきて先輩たちや利用者さんと日常会話ができるようになりました。泉さんからの信頼も得ました。今は笑顔で挨拶してくれて、いつもお茶の配達やおむつ替えなどもお願いされています。

二つ目の試練は「N3の試験に合格する必要があったこと」です。語彙、文法、漢字などを学ぶことがたくさんあるので頭が爆発しそうになりました。疲れていても毎晩四間勉強し宿題があったら遅くまで起きました。結果として、N3に合格することができ、次はN2に挑戦しようと思います。

三つ目の試練は「今まさに経験している新型コロナ感染症」です。施設にはコロナ陽性の利用者がいました。他の利用者への感染を防ぐために、全員をマスクする必要がありました。なかなかマスクをしてくれない方がいました。しかし、私はいつもマスクを着用することの必要性も粘り強く説明して、全員マスクをしてもらえるようになりました。結果として、施設のコロナ陽性者はいなくなりました。

私はまだ直面する多くの試練があることと思います。簡単なことではありませんが家族の励ましや上司と先輩たちの応援などでどんなに大変なことでも乗り越えられることと信じています。人生の挑戦を諦めません。一生懸命頑張ります!